

平成29年1月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 平成29年1月25日(水)

II. 開会及び閉会  
開会 13時00分  
閉会 16時03分

III. 出席委員

教 育 長	柴 崎 伸 次
委 員	淵 本 晴 生
委 員	川 島 ゆ か
委 員	片 山 工

IV. 出席職員

職 名	氏 名
教 育 次 長	近 成 昌 行
総務学務課長	青 山 祐 志
総務学務課参事	松 田 典 久
社会教育課長	馬 場 昌 一
図書館長	嶋 田 学
中央公民館長	今 吉 崇 文
呂久学校給食調理場所長	寺 田 二 三 夫
総務学務課課長補佐	井 上 二 三 代
総務学務課係長	近 藤 の ぞ み

V. 議事の内容

1. 開 会

2. 教育長報告について

柴崎教育長

- 都市教育長協議会(1/20)について
- 平成29年度瀬戸内市教育関係予算について

3. 前回会議録の承認

署名委員 川島 ゆか 委員 片山 工 委員

#### 4. 議 事

柴崎教育長 議事進行

##### 第1号議案 青少年問題協議会委員の委嘱について

馬場課長 (資料を基に説明)

全委員 <異議なし>

##### 第2号議案 重点施策の進捗状況について

柴崎教育長 疑問点、ご意見等いただいて、それに対してご回答させていただくという事で良いか。

全委員 <異議なし>

#### 重点1 「確かな学力。豊かな心、健やかな体の子どもの育成」

##### 1 学力向上や生徒指導のための学習環境の改善について

淵本委員 (小学校35人学級対応臨時雇用事業)

国府小学校5年生とあるが、ここだけということか。

松田参事 現在は国府小学校5年生だけである。

淵本委員 (ICT利活用促進事業)

牛窓西小学校とあるが、ここだけか。

松田参事 今年度は研究協力校ということで、牛窓西小学校に依頼をして研究発表をしていただいている。

淵本委員 (外国語指導助手(ALT)幼・小・中派遣事業)

「特に幼稚園での成果が大きいのと考えている」というのは、どういう理由あるいは具体例があって、そういうふうに見えると考えているのか。(放課後学習サポート事業)

「全国平均との差を2ポイント以上上げる」という表現をもう少し検討する必要があるのではないか。

もっと良い授業をすとか、工夫をしていくために時間を使うとかというよりも1点でも良い点を取らしたい、点を取らすためにどうしたらいいかということの方へ先生方の気持ちが行くのではないかなと思うので、あまり全国平均との差をいうよりも、先生方がやってきた成果が現れたかどうかということの見方に変えていくのが良いのではないかなと思うので、そのへんは研究していただきたいと思う。

(学力向上プロジェクトチーム)

このプロジェクトチームがどれだけ機能しているのかということが、

もっと具体的に表現できたら良いと思う。

「年2回、情報共有の場を設定している。……を重ねている。」とあるが、プロジェクトチームを立ち上げてきてから数年以上経っていると思うので、家庭学習の成果について、どういうふうなことがあるかをお聞きしたい。

松田参事

先ほどの幼稚園の成果が大きいという点については、幼稚園の学習発表会で子供たちが身振り手振りを入れながら英語の歌を体全体で踊りながら表現している様子とか、生活の中で英語が自然に入ってきている印象をすごく受けている。そういうことを踏まえ、小さい時期から外国語に接することが、これからの子供たちに役立つのではないかとということで、成果が大きいと書かせていただいている。

それから、学力差を2ポイント以上上げるというのは、平均より低い科目は今より2ポイント近づけよう、平均より高い科目はさらに2ポイント上げていこうという意味で書かせていただいているが、表現を少し検討する必要があるのではないかと考えている。

それから、学力向上プロジェクトチームのところは、以前は学習形態を中学校、小学校そろえていこうということで、やっていた部分もあった。昨年度、家庭学習のスタンダードが県から出されていて、それについて小学校で家庭学習に取り組んだことを中学校にも繋いでいこうということで行っている。具体的な表現になっていないが、そういう広がりを見せているということである。

淵本委員 (指導訪問の実施)

「市内小・中学校の教職員の授業力が……8割以上にする」とあるが、これは教育委員会が主体の文章なのか。

また、「多い学校では若手教員の指導が……指導力の向上にあたっている。」とあるが、これは教育委員会の先生が行って指導しているということか。

松田参事

そうである。新採用教員がいる学校には年1回は指導訪問として、授業を見させていただいている。それにプラスαとして、学校の要請等もあつたり、若手が多い学校には行って指導助言を行っている。

淵本委員

されている人とされていない人があるというのは、良くないと思うが、要望があれば行って指導するということか。

松田参事

なかなか全部の学校への対応は難しいが、要望のある学校については、できるだけ対応させていただいている。

淵本委員

そういう学校へ行って指導されている時はどういう重点で指導をされているのか。

松田参事

今、県が取り組んでいるのは、岡山型学習指導のスタンダードに基づ

いてめあてをはっきりさせるとか、板書の方法であるとか、そういったことをポイントとして先生方に身につけていただけるよう、周知をさせていただいている。

柴崎教育長　今の指導訪問のところで、先ほど報告の中で教育長協議会の時に教員の負担軽減について本市の状況として説明したが、今年度から重点的に教員の育成のために去年より積極的に中に入ってもらっているため、指導主事の負担が反対に増えている。学校内では当然、OJTはやらしてもらおうが、加えて指導主事も入ってもらっているため、戻ってきてから色々と事務作業をしていただいているので、教育委員会自体も負担軽減しないといけないと思う。

川島委員　（指導訪問の実施）

若手教員への指導が、多い学校というのは割合的に若い先生が多い学校によく訪問されているのか。

松田参事　そればかりでもないが、全体的に見ても若い先生が増えてきているのが現状で、その若い先生も講師をして経験を重ねてきている方もおられるし、年齢が30歳に近い方でも全く別の職から先生になられた方もおられるので、いろんなところを加味しながら指導訪問させていただいている。

片山委員　（放課後学習サポート事業・学力向上プロジェクト・指導訪問の実施）

要するに、小学校6年の時の学力検査の結果が中3の結果でどれぐらい伸びたかということと比較するということが良いか。

松田参事　平均点を上げるというご意見をいただいたが、点数が良くなるだけではなく、中学校3年間で苦手だったところがこれだけできるようになったというようなところで、どれだけ伸びるかということを考えていきたいと思う。

片山委員　ポイント数で言うのが一番簡潔な方法だと思うが、あまり点数にこだわらない方がいいと思う。それと、2ポイント上げるではなく、縮めるのほうがいいと思う。

松田参事　表現を考えさせていただく。

片山委員　それから、「市内小・中学校の教職員の授業力が向上し、」というところは、目標に掲げるという意味では、向上を図るとか、何かこちらの意図も入ったほうが良いのではないかと思う。

## 2 魅力ある学校施設や教育設備の計画的再整備

淵本委員　（学校施設長寿命化計画策定事業）

「夏季休業中に現地調査を実施した」とあるが、調査をした結果、どう思われたのか。

- 青山課長 8月中旬に委託業者が一定の基準をもって各学校を目視で調査し、どこが一番痛み加減が多いかというところで比較をし、要望等を加味しながら、点数化し、どこが緊急性が高いかというふうな形で、並び替えるための調査を行ったということである。
- 淵本委員 建物とか施設設備が子供たちの身体に危険性があるか無いかということはもちろんであるが、見た目が汚いというのも子供の心とか精神衛生から考えて、よくないと思うので、そういう視点も入れていかないといけないと思う。
- 片山委員 (学校施設長寿命化計画策定事業)  
「検討委員会を設置し、3回開催した」とあるが、達成目標との整合性を考えたら、開催することが目標ではなく、実行性のある計画とすることが目標であるので、達成目標に近づくような感じの一言が最終報告ではあったほうが良いのではないかと思う。
- 青山課長 1月末までに最終素案を作り、その後、パブリックコメントを行い、年度内に完成する予定である。

## 5 特別支援教育の充実

- 淵本委員 (就学指導説明会の実施)  
担当者の認識に温度差があるというのは、どういうことか。
- 松田参事 担任やコーディネーターの中にも、いろんな温度差があって就学指導委員会の部分でいろんな差が生じてきたということで、就学指導にかけたほうが良いような子がもれることがないようにする意味で、ここに書かせていただいた。
- 淵本委員 保護者の理解が難しいというのはわかるが、担当者の間は一定のコンセンサスで保護者と向き合っていないといけないと思う。

## 重点2 「子育て・保育・教育を通して子供の成長を社会総がかりで支援」

### 2 就学前保育・教育と小学校教育を接続し学びの基礎力を育成

- 淵本委員 (保育園、幼稚園と小学校との連携)  
「保幼小接続スタンダード」とは、共通カリキュラムとは違うのか。
- 松田参事 共通カリキュラムは、幼稚園での教育を共通に、ある程度レベルを合わせて小学校へ上げていこうということで作成をしているもので、保幼小接続スタンダードは、共通カリキュラムと全く別物ではなく、一部を流用しながらステップアップしていくために、保育園、幼稚園から小学校への接続の部分での共通認識をしていって、小1ギャップとかをなくしていこうということで作成したものである。

### 3 家庭教育の充実のための支援

淵本委員 (家庭教育学級開催事業)

達成目標で、「親育ち応援学習プログラム」を各園で実施するとあるが、進捗状況では4園のみ実施となっている。他の園はできなかったのか。

馬場課長 市内に6園あり、2園についてもお願いをしたが、年間計画を立てる中で組めなかったということで、来年度は是非とも、学習の中に応援プログラムを取り入れていただくようお願いをした。

淵本委員 かなりの時数を要するものなのか。

馬場課長 ファシリテーターがいて、家庭教育の悩みとか課題について、だいたい1時間くらいのプログラムで行っている。

淵本委員 ファシリテーターを呼ぶための費用が、この事業費の中にあるということか。

馬場課長 そうである。

淵本委員 幼稚園、保育園の大事な時期に、その子供たちに一番影響力のある保護者の方々に学習していただくのは大事なことなので、できればすべての学年で家庭教育学級をすることができたら良いと思う。

### 4 支援が必要な子どもへの適切な支援

淵本委員 (幼稚園専門相談員(臨床心理士等)巡回指導事業)

「県の事業を活用し、東備支援学校の先生等の専門指導員を配置し」と「市の事業として、専門指導員の巡回指導を各園で行った」とあるが、これは要望があった園だけ行ったのか、あるいは、すべての園で行ったのか。

松田参事 保育園を含めて、すべての園で行った。

柴崎教育長 東備は4歳児だけ実施し、その3、5歳児は市独自で行った。

松田参事 それについても、アドバイスはいただいている。

淵本委員 支援が必要な子供たち、あるいは園児への対応については、臨床心理士やカウンセラーの方に相談にのっていただいているが、そういう子ども達に関わっている教職員の悩みとかにも対応していただける、あるいは、他にそういう人がいればいいのと思うが。

松田参事 東備支援学校の先生が来られた時には、支援のしかたであるとか、ある程度、そういう相談も聞いていただきながらアドバイスをいただいているということは聞いている。できれば、そういう専門の方がいればいいと思う。

片山委員 達成目標が小学校で0.1人、中学校で2人と数値目標で出ているのであれば、やはり進捗状況もある程度、数値が入ったほうが良いのではな

いかと思う。

5 関係機関の連携協力による子どもの健全育成

川島委員 (スクールカウンセラー配置事業)

スクールカウンセラーの活用が各学校とも非常にニーズが高いとよく聞かすが、来年度それが増えるとか、そういうことはまだわからないのか。

松田参事 人の数にも限りがあるし、県の事業であるので、県の予算に応じてということで、現状維持はしてもらえると思うが、拡充については、まだわからない。

6 子育て支援を行う地域ボランティア等との連携協力

淵本委員 (学校支援地域本部事業)

地域本部事業の活動内容についてのまとめは、1年に1回、交流会のようなものをされているのか。

馬場課長 地域教育協議会の会長さんをお願いして、各学校の成果、課題等を出していただき、それも共有しながらということで、最終的には年間を通しての事業の報告書をいただいている。

淵本委員 その中で、成果というか、その事業をして良かったというふうないくつかの例があるか。

馬場課長 具体的には今、申し上げることはできないが、これはあくまでも学校の課題解決のための支援ボランティアであるということが目的であることだけは、はっきりしている。

重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」

特になし

重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」

1 市民の健康づくりや体力づくりのためのスポーツ活動の場所と機会の提供

淵本委員 (スポーツ公園等指定管理料)

「民間による特色のある運営を行う」とあるが、どういうところが特色のある運営となっているのか。

馬場課長 スポーツ公園を使用している社会教育団体としての体育協会が、その主催する事業と、それに使用する施設の指定管理もするというので、施設の実態をよく理解しており、適切な管理ができる。

また、海洋センターを運営するにあたっての資格を持った職員を配置

することで、海洋センターを円滑に活用するなど、体育協会が持っている能力を生かして、生涯スポーツを進めるための事業に組んでいただいている。

淵本委員 施設設備については市の管理になるのか。

馬場課長 設置したのは瀬戸内市であるので、もちろん施設も市のものであるが、それを管理し、活用していくということを指定管理という形で、体育協会がやらせていただいている。

淵本委員 施設そのものを改善していくとなると、指定管理をしている体育協会が市との話し合いで改善していくのか。

馬場課長 金額にもよるが、少額については体育協会で行っていただく。

淵本委員 施設の改善要望については、高額の場合は管理運営をしている体育協会が市に対して提案していくのか。

馬場課長 その場合もあるし、通常の電話連絡や3ヶ月に1回報告される指定管理状況を見ながら、見直すべきところは見直していつている。

#### 重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」

特になし

柴崎教育長 ご指摘いただいた箇所については、見直したうえでなるべく早めにお返しさせていただく。

#### 5. その他

松田参事 (平成28年度卒業式・平成29年度入学式出席者について説明)

嶋田館長 (瀬戸内市立図書館友の会について紹介)

馬場課長 (備前長船刀剣博物館特別展『大相撲と日本刀』について紹介)

#### 6. 閉 会 (16時03分閉会)